

1 策定の趣旨

長期ビジョンに掲げる「誰もが主役のふくい」の実現を目指し、日本人も外国人も共に「チームふくい」の一員として交流・協働し、異なる価値観を認め合う寛容性の高い共生社会をつくるため、新たに「福井県多文化共生推進プラン」を策定する

2 計画期間 令和3年度から令和7年度（5年間）

3 基本理念

ふくいに暮らす人々が、国籍に関わらず、地域社会の一員として多様な個性や価値観を互いに尊重し、交流を拡大することにより、日本人にとっても外国人にとっても、住み続けたいと思える、ポストコロナ時代において世界から選ばれる「多文化共生先進地ふくい」を実現する

4 基本目標と施策の方向性

I みんなが暮らしやすい「安心共生社会」の実現

生活の基盤となる環境を整備し、相談・サポート体制を充実することにより、外国人県民が安心して暮らし、住み続けたいと思えるまちを目指す

I-1 外国人児童生徒に対する日本語教育の充実

◆学校におけるコミュニケーションの円滑化とサポート体制の強化

日本語支援員によるサポート体制の充実・多言語翻訳機の整備拡充 など

◆地域における子どもの日本語教育支援

日本人学生と外国人留学生が連携した母語と日本語の両方による教育支援 など

I-2 地域におけるコミュニケーション支援

◆日本語学習機会の充実

仕事の都合等で受講できない人対象のオンライン日本語講座の開催 など

I-3 生活支援・相談体制の強化

◆外国人相談センターの機能強化

ふくい外国人相談センターを中心とした関係機関との連携による相談体制強化 など

◆安心できる住まいの確保

不動産業者等を対象とした情報交換会やセミナーの開催 など

I-4 防災分野の支援体制強化

◆生活安全・防災支援体制の強化

避難所における「やさしい日本語」での情報提供の充実 など

I-5 医療・福祉分野の支援充実

◆医療支援体制の強化と福祉分野の支援充実

外国人患者を受け入れる拠点的な医療機関における多言語対応の促進 など

II 一人ひとりが地域の担い手「活躍共生社会」の実現

日本人、外国人ともに、互いの文化の違いを知り、認め合うことや、外国人県民が地域社会に積極的に参画することを通し、誰もが主役の共生社会を目指す

II-1 相互理解の促進

◆多文化共生の担い手育成

外国人県民に必要な情報を伝達する外国人コミュニティリーダーの養成 など

◆児童生徒への国際理解教育の充実

教科学習や特別活動等を通じた児童生徒の多文化相互理解の促進 など

◆外国人県民の活動の情報発信

地域社会での外国人県民の日常や活動を自治体広報誌などで発信 など

II-2 外国人県民の地域交流拡大

◆多文化共生の活動拡大

多文化共生や外国人支援に取り組む団体の活動促進 など

◆地域住民との交流促進

多文化交流に関するイベントなどの開催拡大 など

◆地域の担い手としての活躍促進

自治会活動や地域行事などへの参加促進 など

III 世界から選ばれる「共生先進モデル」の実現

福井の文化・伝統など、オンリーワンの魅力を海外に伝え、ポストコロナで地方が重視される時代において、世界から選ばれる共生先進モデルの実現を目指す

III-1 留学生の受入れ・定着支援

◆留学生の受入れ拡大

県内大学への留学に向けた海外向け県内大学の情報発信・営業強化 など

◆留学生の県内企業への就職促進

留学生と県内企業をマッチングする合同企業説明会の開催 など

III-2 グローバル人材の受入れ・活躍支援

◆専門人材の福井への誘致

デジタル変革を支える外国人ITエンジニアの県内企業での就職拡大 など

◆外国人材の受入れ・活躍支援

外国人労働者の就業・生活環境の改善を行う企業の拡大 など

III-3 世界への発信強化と交流人口の拡大

◆世界に向けた情報発信

県内留学生やコミュニティリーダー等による福井の生活や仕事に関する情報発信 など

◆外国人交流人口の拡大

海外にいながら福井と国際社会をつなぐ役割を担う友好大使の拡大 など